

**成田空港活用協議会**  
**令和3年度 事業報告**  
**(資料編)**

## 目 次

### (1) ビジネス支援事業

- アクティビティ(体験型)商品開発 . . . . . 1
- 航空／空港関連企業との商談会 . . . . . 3
- 千葉県観光商談会(北海道) . . . . . 7
- 日本遺産等を活用した誘客促進 . . . . . 13
- 地方創生と連動したDMO養成塾 . . . . . 15
- 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客 . . . 17
- 千葉県ホストタウン紹介映像放映事業 . . . . . 19
- 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組 . . . 23
- 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業 . . . 26
- 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー . . . . . 37
- 圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組(第2回県内経済活性化ビジネスセミナー) . . . 39
- 夷隅・安房地域ミーティング及び第3回経済活性化ビジネスセミナー . . . 42

### (2) 空港利用促進事業

- 空港利用回復事業 . . . . . 47

### (3) 基本的な取組

- 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望 . . . 51
- 会員向け情報発信の強化 . . . . . 53
- 会員提案の募集・具体化 . . . . . 55

### (4) その他

- プレスリリース . . . . . 56

## (1)ビジネス支援事業

### アクティビティ(体験型)商品開発

アクティビティ(体験型)の公募とモニターツアーの実施により、将来的には訪日外国人を対象にした有償ツアーの商品化を目指す。

本年度においては、感染防止策を講じたうえでモニターツアーを実施し、ツアー結果を踏まえた商品の磨き上げ等を行った。



いすみ市モニターツアー（津々ヶ浦）



横芝光町モニターツアー（味噌作り体験）

#### [展 開]

アクティビティ商品の開発にあたって外国人の視点を取り入れることを目的とし、日本在住の外国人の参加を募りモニターツアーを実施した。ツアー終了後、参加したモニターからツアーへの評価や感想をヒアリングし、改善点、価格の妥当性、ターゲット客層等のフィードバックを受け、商品化に向けた磨き上げを進めた。モニターツアーの実施状況については以下の通り。

- いすみ市（ツーリズムいすみ）  
日 時：令和3年12月3日（金）  
行 程：サイクリングツアー（飯縄寺、津々ヶ浦、太東漁港、椎木堰周辺）  
ツアー参加モニター：3名
- 横芝光町（一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会）  
日 時：令和4年1月21日（金）  
行 程：味噌作り体験（情報交流館ヨリドコロ）、  
歴史探訪ハイキングツアー（貝塚・三十三観音巡り）  
ツアー参加モニター：4名

## [協力会員]

Orange(株)、いすみ市、横芝光町

## [総括]

- 今年度は、当初6回程度のモニターツアーを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際には2回の実施となった。
- 実施したモニターツアーについて、参加したモニターからは概ね好評であったが、商品化（有償化）に向けてはより一層の磨き上げが必要と考えられる。
- 一方で、2年以上続くコロナ禍でインバウンドの需要環境が激変したことを踏まえて、ターゲット（訪日外国人から日本人旅行者へ）や商品開発方針の変更を検討する事業参加会員も出てきている。
- 本事業は、活用協第2期からの5ヶ年事業として実施しており、来年度が最終年度となるが、来年度においてもインバウンドの需要回復は期待できないと見込まれることから、当初計画していた一部有償でのモニターツアー実施や商品化に向けたツアーの磨き上げを行うのではなく、これまで本事業で実施したモニターツアー等の取り組みを会員へ共有する場を設け、ノウハウの提供や課題の共有を行うことしたい。



## 航空／空港関連企業との商談会

航空／空港関連企業と会員企業を含む県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス(取引)の実現を図り、県経済の活性化につなげる。

4回目の開催となる今回は、食品の卸売・小売・機内食等を展開するバイヤーと県内食品事業者との個別商談及び展示商談を実施し、取引機運醸成を図った。



個別商談の様子①



個別商談の様子②



あいさつする佐久間会長



あいさつする小泉副会長（成田市市長）



展示商談の様子①



展示商談の様子②

## [展 開]

- ・ 日 時 : 令和4年1月18日(火) 10時00分～16時20分
  - ・ 場 所 : ANAクラウンプラザホテル成田(成田市)
  - ・ 参加者 : バイヤー 16社(18部門)  
サプライヤー 53社(県内に事業所・生産拠点をもつ企業等)
  - ・ 開催方式: 事前マッチング型の個別商談及び展示商談
  - ・ 対象品目: 「千葉ならではの」という特徴をPRできる商品
- 
- ・ 前年3月以来の開催となる今回は、「おいしい千葉と空の商談会2022冬」と題して、ANAグループやJALグループをはじめとした航空/空港関連企業へバイヤーとして参加を募り、サプライヤーは、千葉県内に事業所等を持つ企業・商店・生産者を対象に参加を募った。
  - ・ 開催に当たっては、参加者の安全・安心を第一に考え、「3密対策」に取り組む、受付での検温・消毒の実施、会を通じて試飲・試食を行わない等の感染防止策を講じた。
  - ・ 個別商談は、事前マッチング型とし、1コマ20分で午前5コマ、午後4コマを実施した。
  - ・ 前回は情勢を踏まえて実施を見送った展示商談を復活させ、バイヤー・サプライヤーの接点の拡大を図った。
  - ・ 前回到続いて、商談会に精通した専門家((一社)千葉県中小企業診断士協会)の協力の下、バイヤーへのニーズ調査、商談先の提案などマッチング調整に力を入れた。結果として、合計156件の個別商談(各バイヤー平均8.6商談)を実施することができた。
  - ・ 商談スキルの向上等を目的としたサプライヤー向けの事前説明会(YouTubeによるオンライン配信)を開催し、ノウハウの提供や成約に向けた助言を行った。その他、FCPシートの作成支援や相談体制の構築等、専門家による個別フォローを充実させた。
  - ・ 商談会後も、成約に向けた後押しや商談時の反省(今後に向けた整理)等を促すため、専門家による個別フォローを実施した。

## [アンケート結果]

### <商談の成果>

- バイヤー参加者数=18社(うちアンケート回収18社)
- ・ 商談数合計=158件(※展示商談を含む)
  - ・ 具体的な商談成約をした=7件
  - ・ 成約には至らなかったが、継続的な商談をしていきたい=105件
  - ・ 継続的な商談の可能性が低い=39件
- ・ 無効回答数(未回答)=7件

●サプライヤー参加者数＝53社（うちアンケート回収53社）

- ・商談数合計＝183件（※展示商談を含む）
  - ・具体的な商談成約をした＝12件
  - ・成約には至らなかったが、継続的な商談をしていきたい＝132件
  - ・継続的な商談の可能性が低い＝26件
  - ・無効回答数（未回答）＝13件

<商談会についての意見・コメント>

（バイヤー）

- ・成約の有無を問わず、とても有意義な会でした。色々な商材の情報交換ができてよかったですと思いました。ありがとうございました。
- ・食材についてプレゼンありがとうございました。大変興味があり店舗で試作したいです。
- ・商談時間がちょうどよかったです。
- ・商談の時間をもう少し守っていただきたい。時間よりも早く席に着くサプライヤー様が多く、準備が間に合わないことがありました。
- ・展示商談会場に人が多すぎて、入るのをためらった。だいぶ密であった。

（サプライヤー）

- ・本社の商況で実るか否かはわかりませんが、アフターコロナに向けた商品開発を進めていきたいと思います。新たな情報も得られたので参加してよかったです。
- ・昨年も参加させていただきましたが、空港、航空業界、ホテル等が少しずつ動き始めているので具体的な話が多くできたと思う。
- ・おかげさまで今回成約に結びついていないながらも、次につながる可能性がありそうな企業様と多く知り合うことができました。
- ・コロナ禍での開催で心配したが、全く問題なかった。今後も出展していきたい。
- ・展示商談はブースが密になりすぎて話がしづらかったです。次は分散してやった方がいいと思いました。
- ・首から下げる名札について「バイヤー」だけではなく企業名が書いてあるとより分かりやすいと思いました。
- ・商談会場はうるさくて、バイヤー様の声が聞き取りづらかったです。
- ・展示商談の際の透明なビニールがやりにくさを感じます。対策として仕方ないのですが、全員フェイスガードマスクのほうが動きやすいと感じます。

## [協力会員]

全日本空輸(株)、日本航空(株)、成田商工会議所、成田地区ホテル業協会、  
(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、(株)グリーンポート・エージェンシー

## [総括]

- 前回に続いて（一社）千葉県中小企業診断士協会の協力を得て、サプライヤーへの指導・支援を丁寧に行い、商談のレベルを一定水準に保つことで、当日ベースの成約率が前回は上回った。
- 当日での商談成立には至らずとも、バイヤー・サプライヤー双方から「継続的な商談をしていきたい」という声が多く聞かれ、通常であればなかなか接点を持つことができないうえに、コロナ禍で取引が停滞しがちな状況下においても新たな商機獲得に貢献することができた。
- 会員である金融機関、経済団体、市町村等を通じて広く参加を呼び掛けてもらった結果、前回は上回る参加の申込みを得たが、コロナ禍を理由に途中で参加を辞退されるケースが複数件見られ、参加費を取らない開催形式による繋ぎ留めの難しさが課題となった。
- 新型コロナウイルスの感染防止策については十分配慮したが、参加者の反応は肯定的、否定的どちらも見受けられ、次回以降もコロナ禍での開催となるのであれば、開催形式については引き続き検討していく必要があると感じた。



## 千葉県観光商談会(北海道)

北海道から千葉県への、成田空港・LCCを利用した来訪促進や旅行商品の造成等を図るため、北海道の旅行会社と県内観光事業者等とを結ぶ観光商談会を実施した。

### [展 開]

#### 1 事業の概要

成田空港・LCCを利用した来訪促進や旅行商品の造成等を図るとともに、新型コロナウイルス感染症により冷え込んだ観光業の回復を目指し、北海道の旅行会社をバイヤー、千葉県内の観光事業者等をセラーとする観光商談会を初めて開催した。

成田空港から新千歳空港に就航するLCC3社の参加・協力を得て実施した。

##### (1) 事前説明会

- ・日 時：令和3年8月31日（火）13時30分～15時00分
- ・場 所：オークラ千葉ホテル
- ・参加者：セラー（県内観光事業者等） 23団体
- ・内 容：
  - ・北海道商談会の趣旨について
  - ・LCC等航空関連企業のプレゼンテーション
  - ・北海道商談会開催概要について

●効果的な商談となるよう本商談会の趣旨を共有し、参加者間の連携を促した。

##### (2) 商談会

- ・日 時：令和3年11月17日（水）13時15分～18時00分
- ・場 所：ロイトン札幌
- ・参加者：バイヤー（北海道の旅行会社） 14社（23部門）  
セラー（県内観光事業者等） 23団体
- ・内 容：〈第1部〉講演（千葉県観光誘致促進課・成田国際空港(株)）  
個別商談（固定5回・フリー3回）  
〈第2部〉プレゼンテーション

●参加者の希望に応じた事前マッチング商談とフリー商談を計8コマ実施した。



商談会場



個別商談の様子

### (3) アンケート・フォローアップ

商談会の効果測定とセラーのフォローアップのため、次のとおりアンケート等を実施した。

#### a. セラーPRシート

参加セラーの概要およびセールスポイントを記載したPRシートを作成し、バイヤーへ配布した。電子データにより、当日参加したバイヤー以外（道内他支店や他担当者）にも展開いただくことができた。

#### b. 商談メモ

バイヤーに対し、固定5回の商談相手（セラー）のアピールポイント・成田空港やLCCを利用した提案等を要約した商談メモを作成し、セラーとの商談を通して受けた印象についてアンケートを実施した。

#### c. アンケート

商談会終了直後に、バイヤーおよびセラーに対し、アンケートを実施した。

#### d. フィードバック

バイヤーの記入を得た「b. 商談メモ」から集計した結果を、アプローチの参考となるよう各セラーへフィードバックした。

#### e. フォローアップ

商談会后2か月を経過した後に、セラーに対し営業活動等の状況について後日アンケートを実施した。

## 2 アンケート結果

### (1) 商談の成果（商談会后2か月经過時点）

商談数合計：173件

・商談成立・旅行商品化	7件（4.0%）
・商談中・後日商談予定	7件（4.0%）
・今後の情報交換を約束	35件（20.2%）
・今後アプローチ予定	55件（31.8%）
・今回の商談での成立可能性は低い	50件（28.9%）

- 7件の成約、7件の商談予定（商談中）が報告され、初開催としては一定の関係構築がなされたと考える。
- 社会情勢をみて改めてアプローチを行う予定としているセラーも多く、本商談会をきっかけに、機を捉えて継続アプローチしていくことが可能となった。

(2) 成田空港やLCCを活用した商品造成について

【バイヤー】

「可能性がある」「多少ある」と答えた割合

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| ・成田空港経由の旅行商品造成        | 91.9% |
| ・成田空港そのものを目的とした旅行商品造成 | 81.8% |
| ・LCCとの連携の可能性          | 81.8% |

- セラー各社が商談の中で成田空港を利用した提案を行ったことや、LCC各社から直接説明を行ったこともあり、概ね好意的に受け止められた。

【セラー】

「可能性がある」「多少ある」と答えた割合

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| ・成田空港やLCCとの持続的な連携 | 82.6% |
|-------------------|-------|

- 羽田空港の方が近い・成田空港からのアクセスが弱いなど、セラーの立地条件により成田空港やLCCを利用したセールスに難しさを感じていた。
- しかしながら本商談会の趣旨を理解し、成田からのルート、またルート上にある他地域との連携を検討するなど、県内セラーに対する成田空港・LCC活用に関する意識づけに一定の効果があった。

(3) 成田空港やLCCの利用推進に係る意見や要望・課題

【バイヤー】

・空港の周りに多くの観光施設があると知ったので、それらを組み込んだ提案ができると思った。
・企業、学校、スポーツ団体向けに、成田経由の旅行の目的となるような素材の情報が欲しい。
・(LCC) フライトスケジュールを改善して、デイリー運行にしていざうると、商品計画を作りやすい。
・千葉に良い素材があることは理解したが、トラブル(機材、天候不順)があった際の対応が気になる。
・(LCC) システムの理解が乏しく、制約が多いようなイメージがある。
・(LCC) 客席数の少なさが懸念材料である。
・つくばや土浦など、茨城県との広域連携に取り組んではどうか。
・修学旅行、ゴルフ、観光等の魅力をもっと発信してほしい。

【セラー】

・成田空港経由のセールスに可能性を強く感じた。インセンティブがあると効果は高くなると思う。
・関東観光は羽田空港のイメージを持たれており、都内へのアクセスの良さと飛行機の便数が重視される。立地は羽田空港に優位性があり、何らかインセンティブが必要だと感じた。
・羽田空港利用との差別化が難しく、旅行会社だけでなく、現地空港・自治体・観光団体等との連携やイベントの実施も必要だと思う。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社にはLCCに対する課題（定時性や欠航率、座席販売等）の印象が強く残っており、不安感や誤解の払しょくが必要だと感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体旅行について、エージェン特にとってブッキングにおけるLCCの条件がネックとなっている。旅行会社とLCCとの間で相互理解が進み、より利用しやすい航空会社・空港となっていたきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCCでは教育旅行の送客は、座席ブロックの観点で難しい印象を受けた。団体利用がしやすくなれば、可能性があると感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行については“羽田ではなく成田空港でしかできない体験プログラム”があると成田空港の魅力が大きく上がると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田空港利用の場合、大型団体よりは、中小規模グループの誘致・個人旅行の取組を検討・検証の上、プランニングしていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCCは便数が限られるので、夜間の到着後に楽しめる観光場所（例えばナイトクルーズなど）やフライト前後の時間調整に利用できる空港周辺施設を紹介できればより良いと思う。</li> </ul>

- 成田空港の活用に可能性を感じる一方、とりわけ団体旅行について、成田空港経由での誘致に難しさを感じていた。
- 団体は羽田空港・FSCのイメージが強いのが現状であり、まずはバイヤーに成田空港・LCCの利便性を理解・実感していただくことが重要であると伺えた。
- バイヤーはLCCのシステム等について漠然とした不安感を抱いており、これまで理解を深める機会がなかったことが伺えたが、今回、LCC各社が商談に参加し直接説明を行ったことは有意義であったと言える。
- 旅行会社とLCCとの相互理解が進み、より利用しやすい航空会社・空港となつてほしいとの期待が参加者から寄せられた。
- 現在の状況では、成田空港・LCCを活用するためには企業や部活・サークル等の中小規模グループをターゲットに素材を提供することが必要であると伺えた。

#### (4) バイヤーニーズの確認について

バイヤーのニーズに対し適切に対応していくため、次の手法によりニーズをヒアリングし、セラーの認識とミスマッチがないか確認を行った。

- バイヤーに対し「1（3）b. 商談メモ」を用い、固定5回の商談について、「商談前」にセラーに期待していたこと」および「商談後」に感じたセラーの魅力」を各社ごとにヒアリングした。
- セラーに対し「商談を通じてバイヤーが重視していると感じた点」を確認した。
- 項目は次の9件より選択制とした。
  - ①価格設定／②設備の充実／③収容力／④アクセスの良さ／⑤食事の内容／⑥周辺施設の充実／⑦売りになる特典や企画／⑧他施設等との連携プラン／⑨その他



#### d. 回答結果

項目	バイヤー				セラー	
	商談前		商談後		商談を通じて	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①価格設定	46	21.2%	39	17.3%	10	21.3%
②設備の充実	27	12.4%	36	16.0%	2	4.3%
③収容力	23	10.6%	23	10.2%	5	10.6%
④アクセスの良さ	33	15.2%	35	15.6%	8	17.0%
⑤食事の内容	9	4.1%	8	3.6%	0	0.0%
⑥周辺施設の充実	22	10.1%	22	9.8%	8	17.0%
⑦売りになる特典や企画	43	19.8%	39	17.3%	10	21.3%
⑧他施設等との連携プラン	9	4.1%	13	5.8%	1	2.1%
⑨その他	5	2.3%	10	4.4%	3	6.4%

※上位3項目を着色

- バイヤーが「“商談前”にセラーに期待していたこと」に対し、「“商談後”に感じたセラーの魅力」の割合に大きな乖離はなく、各セラーがバイヤーニーズに応じた商談を行うことができた。
- バイヤーが「“商談前”にセラーに期待していたこと」に対し、セラーが「商談を通じてバイヤーが重視していると感じた点」の割合に大きな乖離はなく、バイヤーニーズを適切に捉えていると言える。
- 特に「価格設定」「売りになる特典や企画」「アクセスの良さ」が重視された。

#### [協力会員]

公益社団法人千葉県観光物産協会、ジェットスター・ジャパン(株)、  
スプリング・ジャパン(株)、Peach Aviation(株)、千葉県

#### [総括]

- バイヤー、セラー双方からおおむね好意的に受け止めていただくことができ、継続開催の希望を多く得た。
- 一定の成約や商談継続が見られ、マッチングの場として一定の成果をあげられたと考える。
- 事前説明会等を通じてセラーに趣旨を周知し、成田空港・LCCの活用という観点でセールスをしていただくことにより、北海道のバイヤーのみならず、千葉県内のセラーに対しても成田空港・LCCの活用について意識づけができた。
- アンケート方法を工夫し、きめ細かなフォローアップを通してセラーへの支援を行った。
- 成田空港・LCCを利用した商品造成に対する課題や要望について、今後の

利用促進のため関係者間で共有した。

- 今後については、会員団体による事業の自走化を図っていく。

## 日本遺産等を活用した誘客促進

日本遺産等の地域資源を活用し、千葉県内の交流人口拡大と将来的な訪日外国人旅行客の誘客に向けたツアー造成を企図するもの。

令和元年度・2年度にかけて日本遺産「北総四都市江戸紀行」のプロモーションとモニターツアー（成田市、佐倉市、香取市）を実施し、本年度は銚子市においてモニターツアーを実施した。

### [展 開]

#### ●モニターツアー

- ・日 時： ① 令和4年2月14日（月）7：30～18：30  
② 令和4年2月15日（火）7：30～18：30
- ・テーマ：日本遺産・北総四都市“江戸紀行”銚子編  
年に2日のみ公開 圓福寺「釈迦涅槃図」を拝観
- ・行 程：東京都内⇒銚子駅⇒圓福寺・飯沼観音⇒磯角商店主屋⇒鮎蔵（昼食）  
⇒石上酒造⇒観音駅～犬吠駅（銚子電鉄乗車）⇒犬吠埼  
⇒地球の丸く見える丘展望館⇒屏風ヶ浦⇒銚子駅⇒東京都内
- ・参加者：2日間計 29名（うち外国人モニター3名）
- ・参加者アンケートによる評価
  - 雄大な景色と歴史のロマンを感じられた。
  - 昼食の生マグロは新鮮で美味しかった。
  - 圓福寺釈迦涅槃図に一番満足している。とても美しく、素晴らしい写真が撮れた。（外国人モニター）



年に2日のみ公開される「釈迦涅槃図」  
熱心に見入る参加者



江戸庶民の旅行先として親しまれた  
「屏風ヶ浦」を散策する参加者

## [協力会員]

(株)近畿日本ツーリスト首都圏、千葉県、香取市、佐倉市、銚子市、成田市

## [総括]

- モニターツアーを通じ、人々の生活に根差した寺社や鉄道の姿（写真映え）、ジオパーク等の地球の歴史が感じられる自然や、魚と醤油を使った食が魅力であるとの意見を得た。
- 日本遺産「北総四都市江戸紀行」の認知度について、参加者アンケートでは約9割が「知らなかった」と答えるなど依然として浸透しておらず、SNS等を活用したPRなど積極的な情報発信を行い、まずは日本人の認知度を上げる必要があると考える。
- 今後については、会員団体による事業の自走化を図っていく。

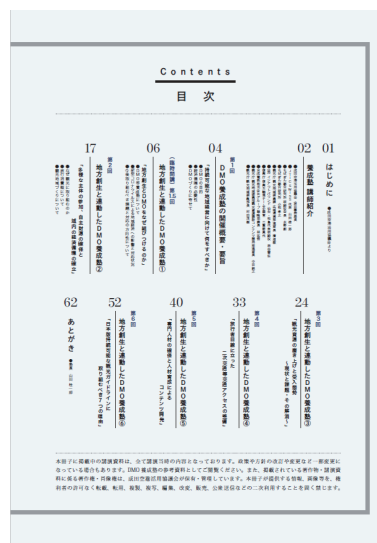
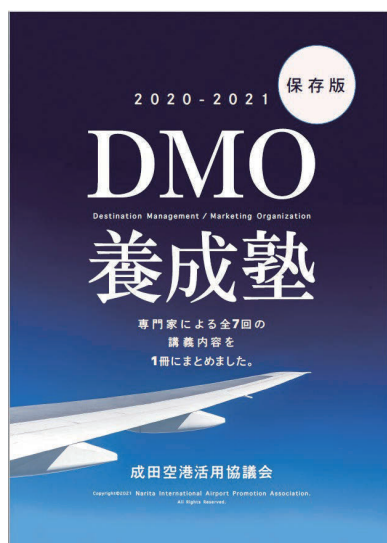
## 地方創生と連動したDMO養成塾

地方創生に有効な取組としてDMOを核とした本来あるべき組織体制を理解し、持続可能な地域経営ノウハウを確立する講座(全7回)を令和元年度～2年度にかけて実施した。

本年度は、統括講師 山田 桂一郎氏の監修により、全7回の講座内容をまとめた報告書を作成し、養成塾受講者や活用協会員へ提供した。また、報告書を基にDMO養成塾の活動内容を振り返り、活動成果を今後はどう生かしていくかといった点について意見交換し、共有する場として報告会を開催した。

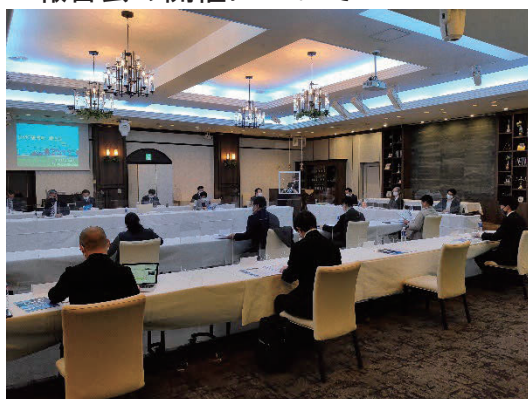
### [展 開]

#### 1 報告書の作成について



オールカラー、全62ページ。養成塾受講者及び活用協会員へpdf版にて提供。報告会の出席者には製本版を配付。

#### 2 報告会の開催について



報告会の様子



水野参与による主催者あいさつ  
(株式会社ちばざん総合研究所取締役会長)



- ・日 時：令和4年3月3日（木）14：00～16：15
- ・場 所：ハミルトンホテル上総（君津市）
- ・出席者：(株)ちばぎん総合研究所、(一社) ツーリズムいすみ、いすみ市、  
千葉県海匝地域振興事務所、千葉県安房地域振興事務所、  
(一社) 勝浦市観光協会、(株)近畿日本ツーリスト、(株)Flact、  
木更津市観光振興課、(一社) 木更津市観光協会、米屋(株)、  
(公財) 航空科学博物館、館山市、(有) コアコミュニケーション、  
(一社) 南房総市観光協会、成田国際空港(株)、千葉県経済同友会、  
千葉県中小企業団体中央会 【計18団体23名】
- ・次 第：①開会・主催者挨拶  
～2022年の夢 超長期を展望した新たなスタート～  
水野 創氏（成田空港活用協議会参与）  
（(株)ちばぎん総合研究所取締役会長）
- ②講演  
「地域の観光づくり～暮らしの足・観光の足を担う自家用有償旅客運送～」  
山内 絢人氏（ツーリズムいすみCMO）  
（(株)Glocal Innovation Holdings 代表取締役社長）
- ③DMO養成塾の活動成果の振り返りと今後の展開に向けた意見交換  
進行 小松 孝之氏（成田空港活用協議会経済活性化部会長）  
（(株)ちばぎん総合研究所調査部担当部長）

#### [協力会員]

(株)ちばぎん総合研究所

#### [総 括]

- 報告書について養成塾受講者からは「養成塾の活動内容を振り返るうえで役立つ」「(自組織の) 今後の活動を検討する際の参考になる」といった反応が得られ、養成塾受講者のみならず、これからDMOについて勉強したい者にとっても有益なものがあった。
- 報告会においては、活用協に求めることとして、関係者間で情報交換ができる場を今後も継続して設けて欲しいといった要望が複数あった。
- 県内のDMOや自治体は、今後の連携を重要視しており、活用協には繋ぎ役としての役割を期待する意見も複数あった。
- DMOや観光振興に係る次年度以降の取り組みについては、報告会で得られた意見を参考に検討・実施してまいりたい。

## 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上 及び近隣エリアへの誘客

国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」にNTT東日本等の技術を活用し「光る江戸図」を制作し、成田空港で展示する。展示品を通じて近隣エリアへの誘客を促し、交流人口の拡大を目指す。

令和2年3月に空港内展示を開始後、新型コロナウイルス感染症の影響により展示が中断されているが、再開を目指し、空港内設置を継続している。

### [展 開]

#### 1 展示概要

- ・展示期間：令和2年3月12日（木）～令和5年3月末（予定）
- ・展示場所：成田国際空港第2旅客ターミナルビル 出国手続き後エリア  
（「NARITA SKY LOUNGE 和」内）  
※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月8日より閉鎖中

#### 2 展示品概要

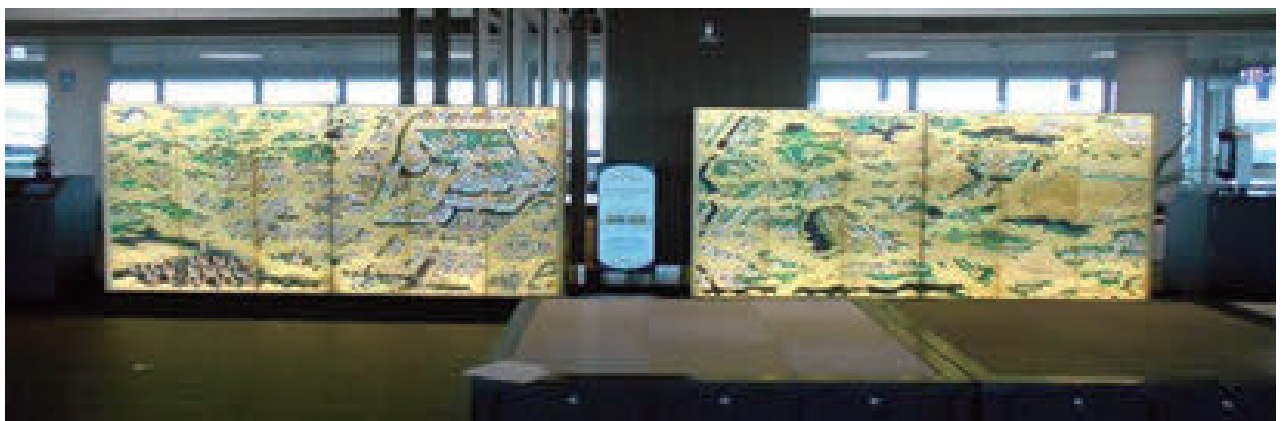
- ・江戸図屏風：江戸時代初めの江戸とその周辺を描いた屏風。江戸時代初期の絵画資料は少なく、研究対象としても貴重な存在。



江戸図屏風（左隻）

江戸図屏風（右隻）

- ・「光る江戸図」展示の様子



- 解説用 I C T 機器：キャラクター召喚装置である「G a t e b o x」とコミュニケーションロボットの「S o t a」を設置。両機器とも、日本語、英語、中国語、韓国語の4つの言語で屏風の解説を聞くことが可能。「G a t e b o x」では、国立歴史民俗博物館3Dキャラクターの「もみちゃん」が解説する。



#### [協力会員]

国立歴史民俗博物館、佐倉市、(株)千葉銀行、成田国際空港(株)、N T T 東日本

#### [総括]

- 「光る江戸図」及び解説用 I C T 機器の空港内展示を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により現在、展示場所が閉鎖されている。
- 次年度以降、所期の目的を達成するため空港内展示を継続し、展示再開を目指すとともに、交流人口の拡大に資する活用方法を検討していく。



## 千葉県ホストタウン紹介映像放映事業

東京オリンピック・パラリンピック2020大会の機運醸成と県内のホストタウンを紹介するため、県内5市の市役所等の施設において、映像を放映した。

また、当大会の直前にあわせ、イオンモール幕張新都心のデジタルサイネージにおいて、映像を放映した。

### [展 開]

#### 1 県内5市における動画の放映

令和元年度に当協議会で作成したホストタウンを紹介する動画を県内5市の市役所等の施設で放映してもらい、住民等へホストタウンの紹介を行うとともに、来訪する選手団への歓迎の機運の醸成を図った。

大会組織委員会の「東京2020参画プログラム」に千葉県と成田空港活用協議会との共同事業として登録し、事業を実施した。

(1) 事業内容：市役所、公民館等における動画の放映

(2) 放映場所：5市（松戸市、木更津市、君津市、いすみ市及び山武市）

の市役所庁舎・公民館等

(3) 各市の取組概要

視聴人数合計 約3,833,700人

自治体	取組概要	成果 (参加者数)	備考 (工夫した点等)
松戸市	市役所庁舎待合スペースでの動画の放映 ・モニター1箇所 ・R2.5.7 ～R3.9.5	・普段はあまりホストタウンについて知る機会がない方や、松戸市に転入されたばかりの方であっても、市民課の事務手続き中に自然に目に留まる場所で啓発ができた。じっくり見ている方もいて、市民の興味・関心を高めるきっかけの一つとすることができた。 (145,269人)	・市民課の待合スペースにモニターを設置し、開庁時間帯は常に放映した。 ・利用者の邪魔にならないよう設置場所に留意し、消音にした。
木更津市	市役所庁舎や公民館などでの動画の放映 ・モニター18箇所 ・R2.8.12 ～R3.9.5	・ホストタウンの映像を放映することにより、市民に広く周知出来た。 (3,603,888人)	・動画放映といっしょに各公民館でホスト国の文化等を紹介するパネルや楽器、民族衣装等を展示。
君津市	市役所庁舎での動画の放映（総合案内） ・モニター1箇所 ・R2.7.1 ～R3.8.8	・本市が登録しているホストタウンのニュージーランドを周知するとともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図ることができた。(約20,000人)	・施設入口正面に配置し、PR効果を高めた。

<p>いすみ市</p>	<p>市役所庁舎及び観光センターでの動画の放映（総合案内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニター2箇所</li> <li>・R2.5.1 ～R3.9.5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック延期に伴い機運も下がっていたが、開催が近づくにつれて動画を視聴する市民が増加した。</li> <li>・本市のホストタウン相手国について興味を持ち、問い合わせをする市民も増加した。</li> <li>・無観客という状況となったが、本市海岸からサーフィン会場近くまで訪れ応援する市民や、選手団が移動する車両が通過する際に手作りの応援グッズで声援を送る市民もおり、ホストタウンとしてできる事を市民自ら行うなど、相手国との間接的な交流が図られた。（28,500人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技紹介チラシなどをモニター近くに配置し、PR効果を高めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オリンピック開催に対する後ろ向きの報道が流れていたことで、一定期間放映の頻度を下げ批判的な意見を抑制した。</li> </ul>
<p>山武市</p>	<p>市役所庁舎市民ホール（待合スペース）での動画の放映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニター1箇所</li> <li>・R2.5.1 ～R3.9.5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山武市がスリランカのホストタウンであることを広く周知するとともに東京2020大会に向けた機運醸成につながった。（36,000人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの来庁者に見ただけのように、行政手続きの待合スペース前のモニターで放映を行った。</li> </ul>

### 動画の放映の様子



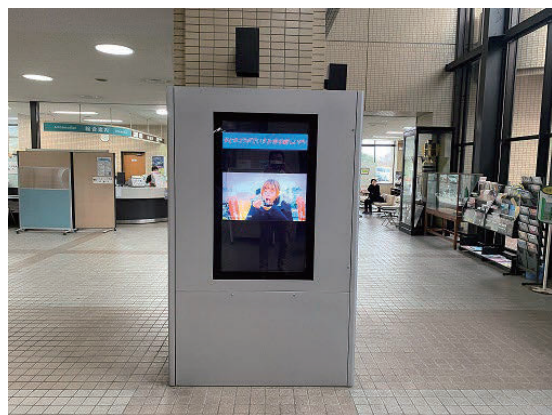
松戸市



木更津市



君津市



いすみ市



山武市

## 2 イオンモール幕張新都心における動画の放映

イオンモール幕張新都心における東京2020大会直前イベントに参加し、令和元年度に当協議会で作成したホストタウンを紹介する動画を放映した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人を呼ぶイベントができない中、密にならないでできるイベントの一つとして参加した。

大会組織委員会の「東京2020参画プログラム」に千葉県と成田空港活用協議会との共同事業として登録し、事業を実施した。

- (1) 事業内容：イオンモール幕張新都心での動画の放映
- (2) 放映場所：イオンモール幕張新都心
- (3) 事業概要：イオンモール幕張新都心の協力により、4館 計37箇所のモニターで動画を放映。
  - ・グランドモール (12箇所)
  - ・ファミリーモール (11箇所)
  - ・アクティブモール (2箇所)
  - ・ペットモール (12箇所)
- (4) 放映期間：令和3年7月19日(月)～7月23日(金)
- (5) 視聴人数：約3,500人
- (6) 成果
  - ・短期間であったが大規模商業施設の37箇所のモニターで動画を放映することで、多くの来場者に動画を見ていただくことができた。
  - ・県内のホストタウンを紹介することができ、東京2020大会直前に放映することで機運醸成を図ることができた。
  - ・7月22日、23日は祝日で、多くの方がイオンモール幕張新都心へ来館し、目に触れる機会となった。
  - ・イオンモール幕張新都心は、大会会場である幕張メッセに近接しており、機運醸成の場として効果的な場所であった。

## 動画の放映の様子



グランドモールでの放映



ファミリーモールでの放映

### [総括]

- 市役所や公民館等でホストタウンの映像を放映することにより、市民に広く周知ができた。コロナ禍での実施となったが、市役所の他のイベントとともに、ホストタウンについて知る機会となると同時に、大会の機運の醸成につながった。
- イオンモール幕張新都心では、短期間であったが大規模商業施設の37箇所のモニターで放映することで、多くの来場者に動画を見ていただくことができた。開会直前から開会日の7月23日まで、大会について世間の関心が高まっている時期に集中的に放映することができた。
- 今後は、県や千葉市ほかホストタウン自治体等が行う東京2020大会レガシーのイベントなどと連携し事業の実施を検討する。



## 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

成田空港の機能強化により、航空／空港関連企業は、大量の従業員を確保する必要があると予測されており、将来的な採用確保や航空人材の育成を図るため、航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会及び高等学校における航空／空港関連業種に関する出張授業を行った。

### 1 航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会

#### [展 開]

航空／空港関連企業の従業員数は、成田空港の機能強化により、事業規模の拡大が必要になると見込まれており、グランドハンドリングなど一部の業種・職種では将来的にも人手不足が課題となっている。また、現在の就職市場は「売り手市場」であり、生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向にあるうえに、新型コロナウイルス感染症により、航空／空港関連企業は厳しい経営状況にあり、求人数や希望者が減少し、就職する高校生が非常に少なくなっている。そうした中、関係者間の課題や情報を共有し、航空／空港業界の採用活動の円滑化、高校等におけるキャリア教育としての活用などを図るため、当懇談会を開催した。

- ・日 時：令和3年11月24日（木）13時30分～16時30分
- ・会 場：成田ビューホテル3階会議室
- ・参加団体など
  - （高校）千葉県立松尾高等学校、横芝敬愛高等学校
  - （専門学校）成田航空ビジネス専門学校
  - （企業）㈱インテックス、㈱NAAリテイリング、㈱ティエフケー
  - （オブザーバー）：成田国際空港㈱、千葉県（15名（事務局含む））

#### ● 懇談会における意見（概要）

（高等学校）

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降のこの2～3年、航空／空港業界を希望する生徒は求人も少ないせいか、ほとんどいない。

（航空関係の専門学校）

- ・航空／空港業界を志望する生徒が通う専門学校であるが、昨年度の就職活動では、新型コロナウイルス感染症の影響で航空／空港業界以外に就職する生徒もいた。

（航空／空港関連企業）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、業績は壊滅的。採用は以前に比べて激減又は採用できない状況。

（全般）

- ・高校生の就職は、保護者の意見に左右される。また、航空／空港関連企業への生徒の就職には、高等学校の進路指導の先生の理解が必要。

## 懇談会の様子



### [協力会員]

(株)NAAリテイリング、(株)ティエフケー、成田国際空港(株)、千葉県

## 2 高等学校における航空／空港関連業種についての出張授業

### [展 開]

高校生に航空／空港関連企業を就業先の選択肢としてもらえるよう、千葉県立松尾高等学校（山武市）に航空／空港業界での実務経験がある講師を派遣し、航空／空港関連業種への興味や関心を高めてもらうための出張授業を当協議会として初めて開催した。

#### ● 千葉県立松尾高等学校における出張授業

- ・ 日 時：令和4年3月16日（水）11時40分～12時30分
- ・ 会 場：千葉県立松尾高等学校 視聴覚室
- ・ 講 師：成田航空ビジネス専門学校 広報部長 石井 美帆 氏
- ・ 参加者：生徒 25名

高校卒業後就職を希望する2年生。航空／空港業界について関心がある1年生・2年生。

#### ・ 内 容

専門学校の講師から、航空／空港業界での仕事について、特に高卒採用のある職種（エアカーゴやグランドハンドリング、検閲官など）を中心に講義を行った。

#### 【参加した生徒の感想（アンケートから）】

- ・ 成田空港には思っていた以上に多くの職種があることが分かり、とても参考になった。
- ・ 経験をもとに話していただき、これまで知らなかった空港の色々なことを知ることができた。

## 出張授業の様子



### [総括]

- 航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響や成田空港の機能強化を見据えて、就職や採用の現状や今後について有意義な情報交換の場となった。
- 当協議会としては初めてとなる「航空／空港関連業種についての出張授業」を高等学校において実施することで、成田空港で様々な仕事があることを生徒に紹介することができた。
- 引き続き、教育機関と連携し、出張授業などの実施を検討する。



# 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業

航空／空港関連業種の一部では現在も人手不足が課題となっているが、成田空港の更なる機能強化に伴い、これらの業種は事業規模の拡大が必要になると見込まれており、将来的にも人手不足が懸念されている。

こうした中、航空／空港業界の人材育成・確保を図るため、県内高校生及び進路指導担当教諭を対象とした「体験型航空教室」を実施した。

## 【展 開】

- 本航空教室では、航空／空港に関連する様々な仕事・職を知ってもらうため、人材不足が課題となる職種にスポットを当てた施設見学や現場職員を交えた座談会など、航空現場の様々な魅力ややりがいを発信することにより、航空／空港関連企業への就職意識の向上を目指し、日本航空(株)及び全日本空輸(株)協力のもと、以下のとおり開催した。



成田空港活用協議会 主催 JAL体験型航空教室開催のご案内

飛行機のお仕事まるごと見せまわす

日本航空(JAL)全面協力!

ホームページはこちら!

**JAL体験型航空教室**

開催日 **2022年2月27日(日)** 参加費 **無料**

【募集人数】 千葉県内高校生限定120名(各校10名上限に募集します。) 応募者多数の場合は、抽選となります。

【申込方法】 生徒の皆さんは、学校(先生)を通じてお申し込みください。(先生は、令和4年1月28日(金)迄にメールで御提出ください。)

【参加費用】 無料(ただし、現地までの交通費は自己負担となります。)

成田空港内フロアマップ・集合場所

JAL体験型航空教室～飛行機のお仕事まるごと見せまわす～

- 集合場所：成田空港 国内線カウンター前 9:00集合
- 解散場所：成田空港オレシオンセンター16:45解散
- プログラム(案)【詳細は案内を御覧ください】
- ガイダンス～セキュリティインテグレーション(国内線カウンター)～
- アナウンス体験(搭乗口)～機内講座～機内で昼食～
- ラブアワード(バスター)～グラウンドハンドリング見学～
- オペレーションセンターにて現役・現職スタッフと座談会など

(※問合せ先)  
成田空港活用協議会事務局  
TEL:043-308-2411 FAX:043-308-2412  
e-mail: info@nrt-promo.jp

募集チラシ (JAL)



ANA体験型航空教室 ANA  
Impression of JAPAN

～ 成田空港のお仕事ってなんだろう?～

レストランFLYING HONUも体験!

成田空港活用協議会とANAでは、成田空港で働く人材の育成・確保を目的として、県内高校生を対象とした「体験型航空教室」を実施致します。この体験型航空教室は、高校生の皆様に空港の様々な仕事・職を知り、関心を持っていただき、空港関連企業への就業意識の向上につなげることを目的とするものです。航空会社のお仕事は、パイロットやキャビンアテンダントの仕事だけでなく、チェックイン業務、貨物の積み下ろし、機体整備など様々な地上業務などがあります。今回は、貨物の積み下ろしをしているグラウンドハンドリングを主に見学します。キャリア教育の一環として、ぜひ、この機会にご参加ください。

開催日：①2022年2月20日(日) ②2022年3月5日(土) ③2022年3月20日(日)  
(各日で実施内容は異なります。いずれか一日に参加頂けます) スケジュール

08:30～08:45 成田空港第1ターミナル「ANA成田スカイセンター」2階受付集合  
09:00～10:30 ANA航空教室(グラウンドハンドリングのお仕事について・マーシャリング(飛行機の誘導)体験)  
10:30～11:15 搭乗手続き及び保安検査後、バスにて機側へ移動  
11:40～13:20 ※1機目のFLYING HONUに搭乗。機内食をお楽しみください  
13:45～14:15 ※2機目に戻り換え、機内の見学を実施。  
ファーストクラスを含む金庫席の見学・体験  
14:25～15:15 空港で働く特殊車両見学・航空機貨物室内を見学  
15:30～16:00 解散  
※11:40～14:15は「レストランFLYING HONU」を体験いただけます。 エコノミークラス機内食(イメージ)

- 募集人数：定員90名(1回30名×3回) 定員を超えた場合は、抽選となります。結果は学校を通じてお知らせします。各校10名を上限に募集(進路指導担当の先生も1名参加できます)
- 参加費用：無料(現地までの交通費は自己負担となります)
- 応募期間：令和4年1月11日(火)～1月28日(金)
- 申込方法：生徒の皆さんは、学校(先生)を通じてお申し込みください。先生(進路指導担当)は、校内の参加希望者をお取りまとめの上、所定のフォームにて以下の宛先へメールで御提出ください(2022年1月28日(金)締切)。(別紙「予約から実施までの流れ」を参照ください)
- 提出先：info@nrt-promo.jp (成田空港活用協議会事務局宛) 
- 集合場所：成田空港第1ターミナルANA成田スカイセンター2階受付前 → 

募集チラシ (ANA)

- 募集人数 : 210名 (JAL120名、ANA90名)
- 申込者数 : 300名 (男性81名 女性219名 うち先生9名)
- 参加者数 : 206名 (男性72名 女性134名 うち先生9名)
- 参加高校数 : 40校 (公立28校125名、私立12校81名)

└ 申込みのあったすべての高校から1名以上参加。空港周辺9市町からは5校19名。



## 1 日本航空株（JAL）協カイベント

【実施日】：令和4年2月27日（日）9時～17時

【開催場所】：成田国際空港第2旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：34校119名（男性39名、女性80名 うち先生8名）

【当日のスケジュール】

時間	実施内容
9:00	集合・ガイダンス
9:15～	国内線チェックインカウンターでチェックイン業務体験
10:30～	搭乗口でアナウンス体験 ●飛行機の出発時間や搭乗案内を実際の搭乗ゲートでアナウンス
11:00～	周遊フライトへの搭乗・出発 ●冒頭、活用協事務局から本日の趣旨等について説明 ●機内ではJALスタッフ（機長、CA、整備士）による仕事紹介など ●昼食では機内食を実食
13:45～	ランプ内周遊バスツアー（グランドハンドリングの現場見学） ●グランドハンドリングの現場をスタッフの説明とともに間近で見学（航空機の機体清掃、貨物の積み下ろし、特殊手荷物の輸送 等）
15:15～	JALグループ各社現役スタッフ等による座談会 ●JALスカイ、JALグランドサービス、JALロイヤルケータリング、JALカーゴサービス、JALエンジニアリング 等）
17:00	解散

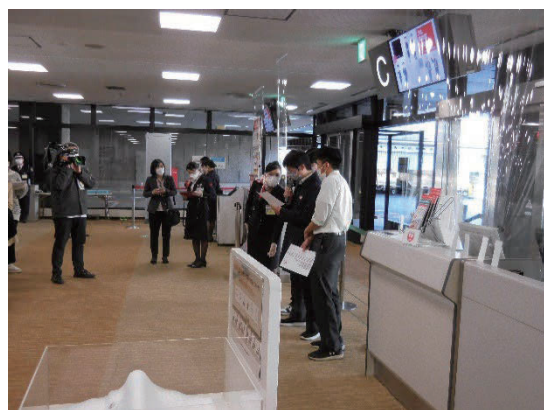
### 【イベント状況】

#### (1) チェックイン業務体験・アナウンス業務体験

・グランドスタッフ説明のもと、実際の搭乗受付やアナウンスを体験した。



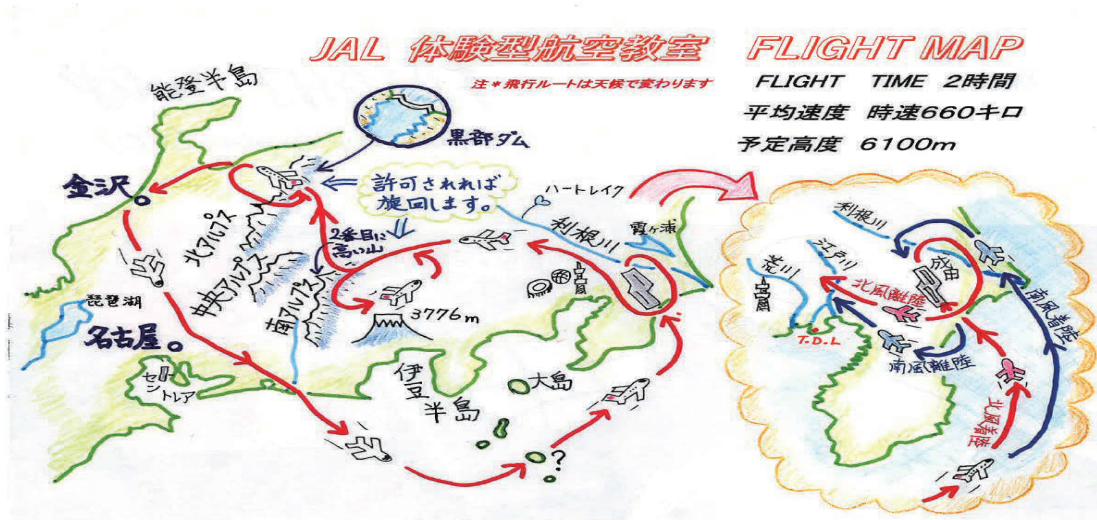
チェックイン業務体験の様子



搭乗口でのアナウンス体験の様子

## (2) 周遊フライト

- ・機内では、機長、CA、整備士から仕事内容ややりがいなどについて紹介した。
- ・昼食は、機長による風景ガイドのもと機内食を夕食した。



フライト航路（成田→金沢→名古屋→成田）



機内アナウンス体験の様子



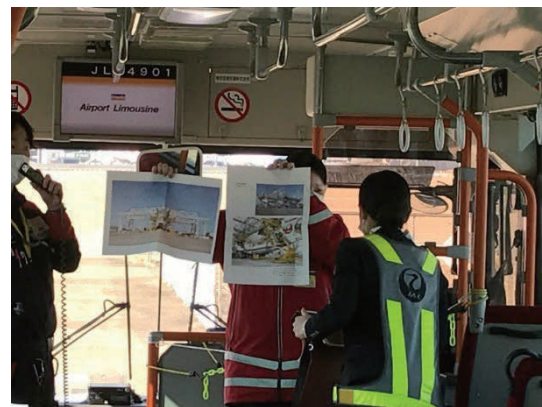
機長説明の様子

## (3) ランプ内周遊バスツアー（グランドハンドリングの現場見学）

- ・グランドハンドリングスタッフによるガイドのもと、航空機の機体清掃、貨物の積み下ろし、特出手荷物の輸送現場などをバスで周遊見学した。



ガイドの様子①



ガイドの様子②



#### (4) 現役スタッフとの座談会

- 参加者を6グループに分け、JALグループ各社（JALスカイ、JALグランドサービス、JALロイヤルケータリング、JALカーゴサービス、JALエンジニアリングなど）から、仕事内容ややりがいなどについて説明を受け、生徒からも、航空業界を目指すために必要なことなどについて多くの質問があった。



座談会の様子（JALカーゴサービス）



座談会の様子（JALグランドサービス）

#### 【アンケート結果】

参加者に対して、イベントを通して興味を持った内容や航空業界への志望度等を確認する為アンケートを実施した。（主な結果は以下のとおり）

#### ①プログラム参加前に、あなたは航空業界で働きたいと思っていましたか？

##### 【回答数111件】

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| ・働きたいと思っていた     | 67件（60.4%） |
| ・働きたいとは思っていなかった | 20件（18.0%） |
| ・どちらとも言えない      | 24件（21.6%） |

#### ②「働きたいと思っていた」へ、どんな仕事をしたいと思っていましたか？

##### 【回答数93件】

- |             |            |
|-------------|------------|
| ・グランドスタッフ   | 36件（38.7%） |
| ・CA         | 29件（31.2%） |
| ・グランドハンドリング | 9件（9.7%）   |
| ・整備士        | 6件（6.4%）   |
| ・パイロット      | 9件（9.7%）   |
| ・管制官        | 4件（4.3%）   |

※「働きたいとは思っていなかった」理由は以下のとおり（いずれも数件）。

- ・「他にやりたいと仕事がある」、「仕事がきつそう」、「接客が苦手」
- 「空港から遠い」など

③参加後、あなたは航空業界で働きたいと思いましたが？

【回答数107件】

- |               |     |         |
|---------------|-----|---------|
| ・働きたいと思った     | 86件 | (80.4%) |
| ・働きたいとは思わなかった | 0件  | (0%)    |
| ・どちらともいえない    | 21件 | (19.6%) |

④参加前に、あなたが体験してみたいと思った項目はなんですか？

【回答数213件】

- |                   |     |         |
|-------------------|-----|---------|
| ・チェックイン体験・アナウンス体験 | 39件 | (18.3%) |
| ・周遊フライト           | 88件 | (41.3%) |
| ・ランプ内周遊バスツアー      | 46件 | (21.6%) |
| ・JAL現役スタッフによる座談会  | 39件 | (18.3%) |
| ・その他              | 1件  | (0.5%)  |

⑤参加後、あなたが興味を覚えた(楽しかった)内容はどれですか？

【回答数285件】

- |                   |      |         |
|-------------------|------|---------|
| ・チェックイン体験・アナウンス体験 | 59件  | (20.7%) |
| ・周遊フライト           | 108件 | (37.9%) |
| ・ランプ内周遊バスツアー      | 69件  | (24.2%) |
| ・JAL現役スタッフによる座談会  | 46件  | (16.1%) |
| ・その他              | 3件   | (1.1%)  |

⑥1日を通してあなたの満足度を教えてください。

【回答数108件】

- |       |     |         |
|-------|-----|---------|
| ・大変満足 | 92件 | (85.2%) |
| ・満足   | 16件 | (14.8%) |
| ・普通   | 0件  | (0%)    |
| ・不満   | 0件  | (0%)    |
| ・大変不満 | 0件  | (0%)    |

<その他主な意見>

(生徒)

- ・チェックイン業務体験やアナウンス体験をできたことから、これまで以上に働いてみたいと思った。
- ・どれも勉強になった。フライトが楽しかった。
- ・グランドスタッフやCAについてよく知ることができて、将来のことについての可能性が広がったと感じた。
- ・アナウンス体験をやってみたいと思っていたが、実際にできて良かった。
- ・漠然としていた航空業界の仕事内容をより詳しく知ることができ、話を聞く前よりも身近に感じることができた。
- ・現役スタッフからやりがい等の話を聞いて、航空業界の仕事に興味湧いた。
- ・バスツアーでは、どんな仕事現場なのかよくわかった。
- ・座談会は、質問が自由にできて良かった。
- ・やりたいなと軽く考えていたが、本当に目指したいと思った。
- ・職員の人となりがわかり、自分もこういう職場で働いてみたいと思えた。
- ・ネットなどで調べるよりも仕事に関する知識が得られた。
- ・CAやパイロットなどの知名度が高い職種だけでなく、それ以外の仕事をより表に出せたら、航空業界への関心も高まると思う。

(先生)

- ・直接仕事の話聞けることで、生徒の進路開拓意識が高まると感じた。
- ・フライトでCAの接客を直に体験し、希望する生徒は夢が膨らむと思った。
- ・生徒がとても生き生きしていた。
- ・教員の立場ながら、生徒以上に楽しく勉強できた。
- ・コロナ禍において、様々な配慮に感謝します。
- ・本校にも空港の保安検査の企業に就職する生徒が時々いるので、多くの職種があることはわかっていたつもりだったが、新たな発見などもあり有意義だった。
- ・生徒の進路開拓意識を高めるために、仕事の現場を見せることがとても重要だと思う。次年度移行も是非続けていただきたい。
- ・この仕事に就くために必要な勉強などをお話して頂くと高校生の勉強モチベーションも上がり、とても良いと思った。
- ・多くの仕事があることを知ってもらうためにも、今回のような体験を実施していただければと思う。
- ・貴重な経験から、生徒の進路意識が高まるように感じた。
- ・グローバルに働きたいというニーズはかなりあるので、航空業界は必然的に世界とつながる企業だと思うので、そこを全面に出すことが生徒の関心を引くと思う。

## 2 全日本空輸(株) (ANA) 協力イベント

【実施日】：第1回 令和4年2月20日(日) 9時～15時30分  
 第2回 令和4年3月5日(土) 9時～15時30分  
 第3回 令和4年3月20日(日) 9時～15時30分

※内容は各回とも同様

【開催場所】：成田国際空港第1旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：27校87名(うち男性33名、女性54名 うち先生1名)

【当日のスケジュール】

時間	実施内容
8:45	集合
9:00～	ANA仕事紹介 ●グランドハンドリングを中心に航空業界全体の業務を紹介 ●地上業務の一端を体感するべくマーシャリング(航空機誘導)を体験
11:40～	A380FLYING HONU搭乗体験 ●機内食を実食、機内では航空に関する動画を放映
13:45～	A380FLYING HONU機内見学 ●機内構造を詳しく学べるほか、エコノミークラスからファーストクラスまでのシートを体験
14:25～	特殊車両・航空機貨物室の見学 ●ANA仕事紹介で学んだ内容について実機を通じて理解を深めるため、グランドハンドリングスタッフによる説明のもと、様々な特殊車両や航空機貨物室内を見学
15:30	解散

キャリア相談会(オンライン)	今後の進路に悩んでいる生徒や航空業界を目指す生徒を対象に、後日、ANAスタッフとの個別相談会(オンライン)を開催。
----------------	---

### 【イベント状況】

#### (1) ANA仕事紹介

- ・ANA仕事紹介では、ANAグループ全体の業務を紹介し、航空業界全体の仕事への理解促進を図った。また、その中でも「グランドハンドリング業務」に焦点を当て、航空機の特徴や空港で使用する特殊車両の特性・用途等について詳しく解説した。
- ・グランドハンドリング業務の中でも知名度のあるマーシャリング業務については、動画に合わせて航空機の誘導を体験するカリキュラムを実施した。



航空教室の様子





## (2) A380 FLYING HONU 搭乗体験・機内見学

- ・『レストラン FLYING HONU』を通じた搭乗体験や機内見学を実施した。



搭乗する様子



機内見学の様子

## (3) 特殊車両・航空機貨物室の見学

- ・午前中に実施したANA仕事紹介で学んだ内容を、実機を通じて理解を深めることを目的として、フォワード貨物室・バラ積み貨物室・パッセンジャーステップ・トーイングカー・機体構造の5つのパートに分けて見学を実施した。



パッセンジャーステップ



バラ積み貨物室



機体周り見学

## (4) キャリア相談会

- ・学生の進路相談に係るアフターフォローとして、オンラインによるキャリア相談会を実施した。

【実施件数】 13件

【主な質問事項】

- ・グランドハンドリングになるために必要な資格はなにか？
- ・客室乗務員やグランドスタッフになるための進路について
- ・専門学校と大学とで就職に違いが出るか？
- ・なぜその仕事についたのか？
- ・今やるべきことはなにか？
- ・実際に働いてみた感想はどうか？
- ・やりがいと大変なことはなにか？
- ・仕事とプライベートの両立は大変なのか？
- ・仕事をする上で大切にしていることは何か？
- ・パイロットの休みと出勤の日程について

### 【アンケート結果】

参加者に対して、イベントを通して興味を持った内容や航空業界への志望度等を確認する為アンケートを実施した。(主な結果は以下のとおり)

#### ①プログラム参加前に、あなたは航空業界で働きたいと思っていましたか？

##### 【回答数49件】

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ・働きたいと思っていた    | 30件 (61.2%) |
| ・働きたいと思っていなかった | 9件 (18.4%)  |
| ・どちらとも言えない     | 10件 (20.4%) |

#### ②「働きたいと思っていた」方へ、どんな仕事をしたいと思っていましたか？

- ・客室乗務員
- ・パイロット
- ・グランドハンドリングスタッフ
- ・ディスパッチャー
- ・空港施設管理業務
- ・整備士
- ・航空管制官 など

#### ③参加後、あなたは航空業界で働きたいと思いましたか？

##### 【回答数49件】

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ・働きたいと思った     | 41件 (83.7%) |
| ・働きたいとは思わなかった | 2件 (4.1%)   |
| ・どちらともいえない    | 6件 (12.2%)  |

#### ④参加前に、あなたが話を聞いてみたい・体験してみたいと思った項目はなんですか？

##### 【回答数49件】

- |   |             |
|---|-------------|
| ・A380 FLYING HONU 搭乗体験  | 8件 (16.4%)  |
| ・A380 FLYING HONU 搭乗体験,<br>空港で働く特殊車両・航空機貨物室内見学                    | 3件 (6.1%)   |
| ・A380 FLYING HONU 搭乗体験, 空港で働く特殊車両・<br>航空機貨物室内見学, 実際に働いている方々の体験や感想 | 1件 (2.0%)   |
| ・ANA のお仕事紹介   | 6件 (12.2%)  |
| ・ANA のお仕事紹介, A380 FLYING HONU 搭乗体験                                | 8件 (16.4%)  |
| ・ANA のお仕事紹介, A380 FLYING HONU 搭乗体験,<br>空港で働く特殊車両・航空機貨物室内見学        | 19件 (38.8%) |
| ・機内食の試食   | 1件 (2.0%)   |
| ・ANA のお仕事紹介, 空港で働く特殊車両・航空機貨物室内見学                                  | 2件 (4.1%)   |
| ・空港で働く特殊車両・航空機貨物室内見学  | 1件 (2.0%)   |



⑤参加後、あなたが興味を覚えた（楽しかった）内容はどれですか？

【回答数49件】

※上位3件のみ記載

- ・ANAのお仕事紹介, A380 FLYING HONU 搭乗体験, 空港で働く特殊車両  
航空機貨物室内見学 22件 (44.9%)
- ・A380 FLYING HONU 搭乗体験 7件 (14.3%)
- ・A380 FLYING HONU 搭乗体験,  
空港で働く特殊車両・航空機貨物室内見学 7件 (14.3%)

⑥1日を通してあなたの満足度を教えてください。

【回答数49件】

- ・大変満足 43件 (87.8%)
- ・満足 6件 (12.2%)
- ・普通 0件 (0%)
- ・不満 0件 (0%)
- ・大変不満 0件 (0%)

<その他主な意見>

(生徒)

- ・とても楽しかった。また機会があればもう一度参加したい。
- ・もともと客室乗務員の仕事に興味があったが、グランドハンドリングやケータリングなど他の仕事も学ぶことができてすごく勉強になった。
- ・飛行機には多くの職種が関わっていることがよくわかった。
- ・大変貴重な経験をさせてもらい、自分の将来像にも大きく影響したと感じた。
- ・航空業界に改めて入りたいと思えた。
- ・スタッフがどなたも親切でとても嬉しかった。コロナ禍で校外学習が2年ほど全く無かったので、思い出に残る一日になりました。
- ・実際に航空教室に参加しないと体験出来ないような貴重な体験や話を聞けて、良い思い出になった。

[メディア露出] 3件

毎日新聞 (3月9日)

千葉日報社 (3月31日)

毎日新聞 (4月12日)

[総括]

- 今回参加した生徒の半数は、もともと『航空業界に興味がある』生徒だったが、体験型航空教室の参加前と参加後では、航空業界で働きたいと感じた生徒が2割以上増加している。最終的に8～9割程度の生徒が航空業界で「働いてみたい」と回答していることから、改めて航空業界が就職先として高い魅力を持ち合わせていることがわかる。

- 参加者の傾向として、CAやグランドスタッフへの就職希望者が多かったものの、イベント参加後は、グランドハンドリングをはじめとする他の関連業種に多くの意見が寄せられていることから、まずは、学生に「知ってもらうこと」が重要であるといえる。
- アンケート結果にあるとおり、イベント参加の満足度は非常に高い。普段は見聞きしない分野・仕事内容に関する話が、生徒にとって今まで持ち合わせていなかった新たな情報となり、意欲関心を高める結果となったと考えられるが、その他にも、現役スタッフから直接、仕事のやりがいや私生活等について話を聞いたのが、高評価につながったものと考えられる。
- 今回のイベントで最も期待していた内容では、搭乗体験だけでなく、座談会（意見交換）やランプ内周遊ツアーと回答する生徒も多かったことから、航空業界のリアルな現場を肌で感じたい生徒たちにとって、全体を通して魅力的なプログラムを組むことができたと考える。
- また、参加した先生からも、『本イベントを進路指導の例示としていきたい』、『このような機会が多くあればいい』と感想を頂いたことから、“体験型”で実施したことが、事業目的である「空港関連企業への就職意識向上」に寄与するものであったと考えられる。
- 当事業は単年度事業を想定していたが、成果や課題を踏まえて、内容、実施規模、効果などを精査し、次年度以降の事業の実施を検討する。

## 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

成田空港の更なる機能強化による県内経済活性化への期待感を醸成するため、令和3年度総会に併せ「第1回県内経済活性化ビジネスセミナー」を開催した。

また、CHIBAビジコン2020 成田空港活用協議会賞の副賞として、受賞企業に事業紹介の機会を提供した。



主催者挨拶（小松経済活性化部会長）



(株)さつまいもの石田農園 石田専務の講演



成田国際空港(株) 竹村執行役員の講演



千葉県 錦織空港地域振興課長の講演

### [展 開]

#### 1 事業概要

- ・日 時：令和3年5月17日（月）15：50～16：50
- ・場 所：TKPガーデンシティ千葉3F「シンフォニア」
- ・対象者：協議会会員 66団体 102名  
メディア 6社 7名
- ・内 容：①CHIBAビジコン2020 成田空港活用協議会賞受賞企業の紹介  
（株）さつまいもの石田農園 専務取締役 石田 湧大 氏  
②成田空港の更なる機能強化について  
成田国際空港(株) 執行役員 機能強化整備部長  
竹村 昌明 氏  
③成田空港周辺地域における国家戦略特区の提案について  
千葉県 総合企画部 空港地域振興課長 錦織 良匡 氏

## 2 アンケート結果

### (1) CHIBAビジコン2020 成田空港活用協議会賞受賞企業の紹介セミナーの内容について

- ・ 大いに参考となった 71.2%
- ・ ある程度参考になった 28.8%
- ・ あまり参考にならなかった 0.0%

#### 主な意見

- ・ 若い経営者の発想の豊かさ、新しいビジネスモデルが印象に残った。
- ・ 近隣企業の面白い取組みが聞け、協業のヒントとなった。

### (2) 成田空港の更なる機能強化について

#### セミナーの内容について

- ・ 大いに参考となった 59.6%
- ・ ある程度参考になった 38.5%
- ・ あまり参考にならなかった 1.9%

#### 主な意見

- ・ 機能強化の必要性や重要性が理解できた。
- ・ 中期的な空港政策について理解を深めることができた。

### (3) 成田空港周辺地域における国家戦略特区の提案について

#### セミナーの内容について

- ・ 大いに参考となった 61.5%
- ・ ある程度参考になった 30.8%
- ・ あまり参考にならなかった 3.8%

#### 主な意見

- ・ 機能強化に伴う地域活性化の重要性について理解した。
- ・ 観光の面でも大変効果的と考えられ、本提案に期待したい。

## [総括]

- 参加者から「空港関連の動向が知れて良かった」「地域活性化・ビジネスチャンスに向けた事業展開の参考としたい」など、好意的な声が寄せられた。
- 総会同日に実施し、多くの会員に参加いただくことができた。



## 圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組

### 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

～圏央道全線開通による県内経済活性化への期待～

圏央道千葉県区間の全線開通(令和6年度)、北千葉道路の全線開通(早期期待)等交通インフラ整備が着々と進展し、令和4年1月には、日本初の農林水産物のワンストップ輸出拠点となる新生成田市場(成田市公設地方卸売市場)が空港近くに開場するなど、圏央道沿線・空港周辺への産業集積に期待が高まっている。

そこで、「圏央道全線開通への期待」及び「新生成田市場の開場に伴う地域経済の活性化」に焦点をあてたセミナー及び成田市場の現地視察等を実施した。



講演する水野参与  
(株)ちばぎん総合研究所取締役会長)



講演する成田市卸売市場の河野主幹



市場視察(水産棟)の様子



市場視察(青果棟)の様子

[展 開]

- ・日 時：令和4年2月1日（火） 13：30～16：20
- ・場 所：成田市公設地方卸売市場
- ・内 容：

(1) セミナー

- ① 圏央道全線開通による県内経済活性化への期待  
 (株)ちばぎん総合研究所取締役会長 水野 創 氏
- ② 新生成田市場の開場による地域経済活性化効果  
 成田市経済部卸売市場主幹 河野 雅祐 氏
- ③ 新生成田市場に入所するメリットなどについて  
 NAX JAPAN(株)取締役常務執行役員 佐藤 啓仁 氏

(2) 視 察

- ① 成田市卸売市場職員による案内のもと市場内を見学
- ② バス車中から圏央道（工事現場）を見学

[参加者等] 24団体 36名

[アンケート結果] 総数26件

(1) セミナーの内容について

- ◎大いに参考となった・・・18件
- ある程度参考になった・・・8件
- △どちらでもない・・・0件
- ×あまり参考にならなかった・・・0件

(2) 今後の事業展開に役立つヒントなど、成果は得られたか。

- ◎大いに参考となった・・・10件
- ある程度参考になった・・・11件
- △どちらでもない・・・5件
- ×あまり参考にならなかった・・・0件

(その他主な意見)

- ・ 漠然としていた圏央道や成田市場の状況について、専門家からしっかりと話を聞いたので勉強になった。
- ・ 成田市場のメリットと課題の両方に触れて頂いたので参考になった。
- ・ 成田市場は、学生向け体験学習などにも利用できると思う。観光客や学生団体などが視察を希望する場合、こういったルートがあるのか具体的に示せば良いと思う。

- ・ ワンストップ通関は大きなメリット（先進事例）であり、水産・青果等の輸出増加に期待が持てる。
- ・ 老朽化したインフラ環境の整備が、物流・農業・観光など多くの面に影響することがよくわかった。
- ・ 今後は、圏央道沿線の視察（1日ツアー）や立地可能性調査などの実施も検討頂きたい。

#### [総括]

- 成田市場の開場から1週間後という“時機を捉えた”セミナー及び視察会を開催できたため、会員の関心も高く、セミナー内容等をより印象付けることができた。
- 圏央道については、水野参与から「全線開通がもたらす経済波及効果」や「残された課題」等について、丁寧に説明頂いたことで、本県における中長期的な展望を共有することができた。
- 成田市場については、自治体、民間事業者それぞれの立場から説明頂いたことで、市場が目指す方向性や輸出拠点として期待される役割などについて、より具体的なイメージを持つことができた。
- 今回、各会員から改めて、「圏央道沿線・空港周辺への産業集積」への高い関心が示されたことから、引き続き、産業集積（企業誘致）への機運醸成につながる取り組みを検討・実施してまいりたい。

## 夷隅・安房地域ミーティング及び第3回経済活性化ビジネスセミナー

地域の会員のニーズや課題に少しでも役に立つ事業展開をしていきたいと考え、令和3年10月に夷隅地域及び安房地域において、それぞれ地域ミーティングを開催し意見交換を行った。両地域ミーティングで出た意見をもとにテーマを決め、令和4年3月に鴨川市においてセミナーを開催し、講演と意見交換を実施した。

### 1 地域ミーティングによる意見交換の実施

当協議会は、様々な事業・取組を実施しているものの、空港から離れた地域にはその効果がなかなか見えにくい状況にあり、それらの地域の会員のニーズや課題に少しでも役に立つ事業展開をしていきたいと考え、令和3年10月に夷隅地域及び安房地域において、市町職員や観光協会職員による地域ミーティングを開催し、観光による地域活性化に係る現状や課題について、意見交換を行った。

#### (1) 夷隅地域ミーティング

##### [展 開]

- ・日 時：令和3年10月13日（水）10時10分～12時05分
- ・会 場：いすみ市役所3階会議室
- ・参加団体：勝浦市、いすみ市、大多喜町  
オブザーバー：千葉県夷隅地域振興事務所

##### ● 夷隅地域ミーティングにおける意見（概要）

（交通インフラについて）

- ・地域としての共通の課題は、まず何といても交通インフラ。これまでも地域で取り組んできたが、うまくいかない。

（コンテンツについて）

- ・地域を訪れたいと思うコンテンツづくりが重要。

（その他）

- ・観光庁が観光デジタル分野でDX予算を計上し、他県ではこれを活用した観光マーケティングを行っているところがある。

##### [協力会員]

（株）ちばぎん総合研究所、勝浦市、いすみ市、大多喜町、千葉県

#### (2) 安房地域ミーティング

##### [展 開]

- ・日 時：令和3年10月27日（水）10時00分～12時00分
- ・会 場：千葉県安房地域振興事務所 3階大会議室
- ・参加団体：館山市、鴨川市、南房総市、南房総市観光協会、鋸南町  
オブザーバー：千葉県安房地域振興事務所



● 安房地域ミーティングにおける意見（概要）

（交通インフラについて）

- ・成田空港に来た外国人観光客をもっと安房地域へ呼び込みたいが、成田空港からのアクセスが良くない。

（コンテンツについて）

- ・交通を通すためには、多くの人を呼び込むための魅力あるコンテンツがなくてはならない。

（広域的なPRについて）

- ・各市町、各観光協会が、それぞれにいいものを作っているが、バラバラに発信していると、それらを統括して見ることができない。

（マーケティングについて）

- ・共通のソフトでデータ収集を行うと、それぞれの事業者や自治体のデータを統合して広域で分析することが可能となる。広域で取り組むことがベスト。

地域ミーティングの様子



夷隅地域ミーティング



安房地域ミーティング

[協力会員]

（株）ちばぎん総合研究所、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町、千葉県

## 2 第3回経済活性化ビジネスセミナー

「～県南に成田国際空港から観光客を呼び込むために～」の開催

### 〔展 開〕

夷隅・安房地域ミーティングで出た課題の中から、成田空港を活用した地域経済の活性化の視点を踏まえ、「観光DX」及び「おもてなし」をテーマとしたセミナーを会員や県南地域の観光事業者等を対象に開催するとともに、今後の課題解決に向けた方策について意見交換を行った。

・日 時：令和4年3月8日（火）13時30分～16時10分

・会 場：鴨川グランドホテル（鴨川市）

・参加者：会場参加者 26名  
オンライン参加者 32名

・内容

#### ○講演

(1) 観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について

講師：観光庁観光地域振興部 観光資源課新コンテンツ開発推進室  
室長 佐藤 司 氏

(2) オール千葉でおもてなし ―真の観光地づくりに向けて―

講師：千葉県商工労働部 観光企画課オール千葉おもてなし推進班  
班長 久保田 隆志 氏

#### ○意見交換

コーディネーター：成田空港活用協議会 経済活性化部会長

(株)ちばぎん総合研究所調査部

担当部長 小松 孝之 氏

### 第3回経済活性化ビジネスセミナーの様子



観光庁観光資源課 佐藤室長の講演



千葉県観光企画課 久保田班長の講演



意見交換（小松部会長による進行）の様子



意見交換の様子

### ● 意見交換における意見

令和3年10月に実施した夷隅・安房地域ミーティングでの意見を振り返るとともに、先だつて実施したDMO養成塾報告会において出た意見を紹介したうえで、今後の取組について意見交換が行われた。令和4年4月又は5月にもう一度会議を設け、「今後どのような事業をやっていくか」話し合うこととなった。それまで各地域や役所の中で話し合い、会議に持ち寄ることとした。

（広域でのプロモーション・PRについて）

- ・海外向けのガイドブックには千葉県では鴨川シーワールドも載っていない。広域でのプロモーションができないか。

（教育旅行について）

- ・房総半島や千葉県という大きなエリアで教育旅行を受け入れて、県内各地域に分散して滞在してもらうのがこれからの教育旅行のあり方なのではないか。

（データベースマーケティングについて）

- ・データベースマーケティングを一自治体ではなく広域でできたらよい。

（自家用有償旅客運送について）

- ・成田空港から県南地域に自家用有償旅客運送で観光客を運び、県南地域を周ってもらふ。そうした取組に係る検討会や実証事業を活用協や県南地域が連携して行いたい。

### [協力会員]

（株）ちばぎん総合研究所、勝浦市、いすみ市、大多喜町、千葉県

### [総括]

- 令和3年10月に実施した夷隅・安房地域ミーティングで出た課題の中から、成田空港を活用した地域経済の活性化の視点を踏まえ、活用協会員や県南地域の観光事業者等を対象に、「観光DX」及び「おもてなし」をテーマにしたセミナーを開催し、今後の課題解決に向けた方策について活発な意見交換が行われた。

- 「広域的なプロモーションやPR」、「ターゲティングの重要性」、「広域的なデータベースマーケティングの必要性」、「成田空港から県南地域に自家用有償旅客運送で観光客を運ぶ実証事業」などについて意見があり、令和4年度には、今回出された意見を踏まえ、改めて具体的な方策などについて検討していくこととなった。



## (2) 空港利用促進事業

### 空港利用回復事業

新型コロナウイルスの影響によって、前年度に続き航空重要が低迷しているなか、県内経済の回復のためには、いち早い成田空港の利用回復が望まれるところ。

本年度においては、国際線に先行して利用回復の兆しが見られる国内線について、成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等を各種の施策、媒体を通じて PR することにより、県内をはじめとした需要を喚起し、空港の利用回復の後押しを図るべく、プロモーション活動を行った。

#### [展 開]

##### ①成田空港の利用促進に向けたポスターの作成

成田空港の充実した国内線ネットワークをアピールするポスターを940枚作成し、県内の郵便局や銀行、市町村ほか活用協の全会員へ配布し、県内全域で展開してもらうことで幅広く浸透を図った。

- ・ 時期：2022年3月末から随時掲示
- ・ 場所：県内郵便局（688局）、会員金融機関（計186店）、地域振興事務所等



ポスターデザイン

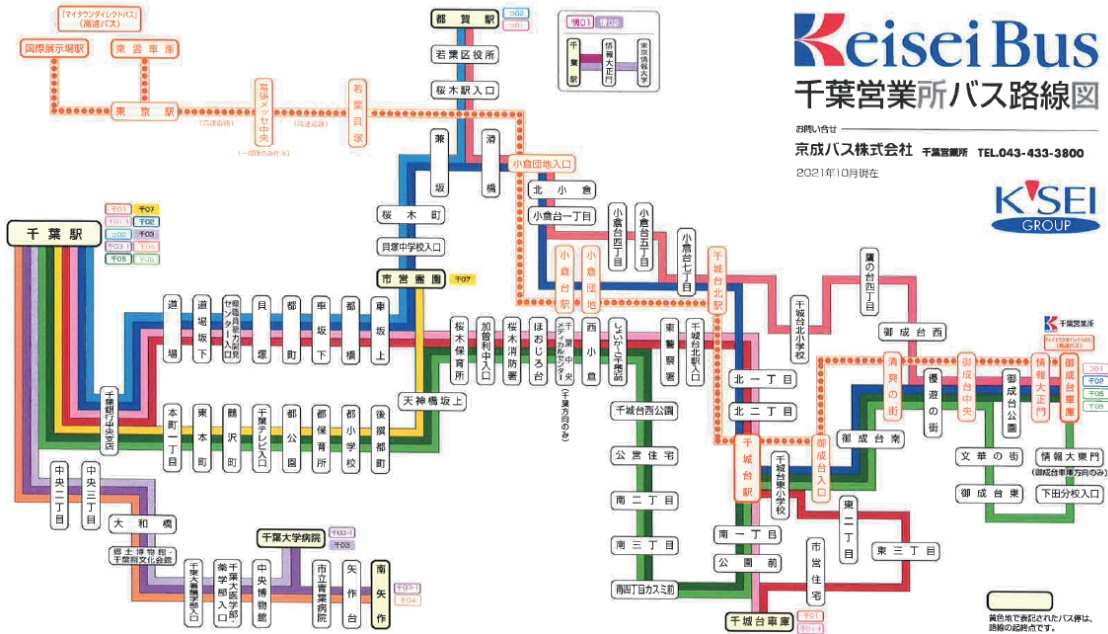
②交通機関へのラッピング広告の掲出

ポスターと同種の内容で、京成バス(株)のバス車両へのラッピング広告を掲出した。

- ・時期：2022年3月26日から1年間
- ・場所：京成バス千葉営業所管内の路線を走行



ラッピング広告デザイン



京成バス千葉営業所バス路線図

### ③旅行系フリーペーパーへのタイアップ記事の掲載

旅行好きな若い女性をターゲットにしたフリーペーパー「たびいじょ」へタイアップ記事「成田からひとり旅へ！はじめてのLCC 活用術」を掲載し、LCCへの理解や興味を深めてもらうよう、成田空港に就航する国内線LCC各社の紹介や、LCC搭乗までの流れ、LCC就航地のおすすめスポット等を紹介した。

- ・配布時期：2022年3月末から半年間
- ・配布場所：都内の大学や全国のゲストハウス、カフェ等ほか希望者へ無料配送
- ・発行部数：10,000部+「たびいじょ」ホームページで電子書籍としても公開



掲載記事内容、全4ページ

### ④イベント等での配布を目的としたエコバッグの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのエコバッグ（トートバッグ）を2,000枚作成した。今後の活用協が関係するイベント等で資料やチラシ等を配る際に用いることとし、受け取ってもらいやすい形で配布することで、PR効果を高めていく。



バッグデザイン、コットン生地でA4サイズのチラシが入るサイズ



## [協力会員]

(株)千葉銀行、(株)京葉銀行、(株)千葉興業銀行、京成バス(株)、  
ジェットスター・ジャパン(株)、スプリング・ジャパン(株)、  
Peach Aviation(株)、成田国際空港(株)、(株)グリーンポート・エージェンシー

## [総括]

- 2022年初頭からの新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、年度末まで全国的にまん延防止等重点措置の期間が続いたことを受けて、当初計画から延期や具体化しなかった活動も一部あった中で、出来得る活動を行った。
- 郵便局や銀行といった多くの千葉県民の利用が想定される施設へポスターを掲出することで、成田空港の充実した国内線ネットワークを広くPRすることが可能となった。
- 新型コロナウイルスの影響により、事業内容が定まらず、事業採択の時点で年度後半(11月半ば)となっていたこともあり、各活動の成果が明るみに出るのが年度末以降となってしまったため、次年度は、新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、より適時適切に展開できるように計画し、成田空港の利用回復を後押しする事業を展開してまいりたい。



### (3) 基本的な取組

## 首都圏中央連絡自動車道及び 北千葉道路の整備推進に関する要望

成田空港に通じる首都圏中央連絡自動車道(圏央道)及び北千葉道路の一日も早い開通を推進するため、要望活動を実施した。

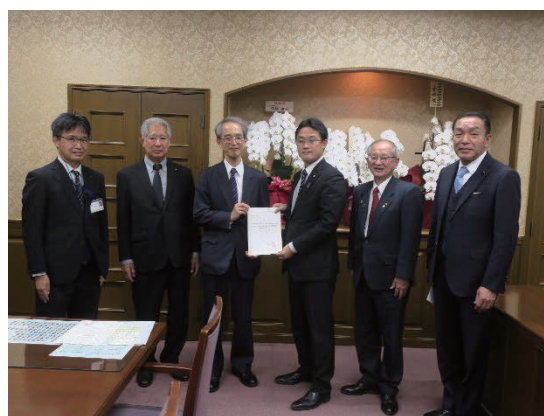
県内関係2団体とともに、財務省、国土交通省及び県選出の国会議員を訪れ、直接、要望書を届けた。



国土交通省 吉岡技監への要望



国土交通省 村山道路局長への要望



財務省 藤原大臣政務官への要望

#### [展 開]

- ・日 時：令和3年11月25日(木) 13:00～
- ・参加団体：千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟  
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

#### 《要望先》

- ・財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長 ほか7名
- ・国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長 ほか31名

・県選出国會議員 29名

※ 内閣総理大臣、内閣官房長官、関東地方整備局、東日本高速道路(株)及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への要望については、別途実施。

#### 《要望内容》

- 1 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
  - ・大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和6年度の開通に向け、確実に事業を進めること。
  - ・県境から大栄ジャンクション間の4車線化については、令和6年度までの供用に向け、確実に事業を進めること。また、松尾横芝インターチェンジから木更津東インターチェンジ間については、早期に4車線化を図ること。特に事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間については一日も早く4車線化工事に着手すること。
  - ・(仮称)かずさインターチェンジの早期整備を図ること。
  - ・神崎パーキングエリア(仮称)については、令和6年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア(仮称)については、大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間の開通を踏まえた、早期供用を図ること。
  - ・圏央道のストック効果を最大限発揮させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。
- 1 北千葉道路の早期全線開通を図ること。
  - ・北千葉道路(市川・松戸)については、早期整備を図ること。
  - ・市川市から船橋市間全区間については、国による早期事業化を図ること。
  - ・早期整備を図るため、市川市から船橋市間の専用部については、直轄事業と有料事業の合併施行とすること。
  - ・印西市から成田市間については、早期整備に向け十分な予算を確保するとともに、直轄施行区間については、引き続き4車線での整備を図ること。
  - ・国道464号の全線の直轄編入を図ること。
- 1 「アクアライン割引」の継続と、必要な予算を確保すること。
- 1 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」及び「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」の令和4年度以降の必要十分な予算を、当初予算を含め、通常の前算とは別途、計画的・継続的に確保すること。
- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和4年度道路関係前算は、所要額を満額確保すること。

#### [総括]

- 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)及び北千葉道路は、成田空港の利便性向上、千葉県全体及び首都圏全体に経済効果を波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、今後も引き続き要望活動を続けていく。

## 会員向け情報発信の強化

会員に対する情報発信を強化するため、今年度から新たに、当協議会の活動状況等をまとめたニュースレターを各会員に送付した。

### [展 開]

令和3年度は、以下のとおり計4回発行した。

号数	内容	刊行年月日
第1号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度総会の開催</li> <li>・CHIBAビジコン2020受賞者</li> <li>・航空商談会アフターフォロー</li> </ul>	令和3年6月10日
第2号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい千葉と空の商談会2022冬の開催について</li> <li>・北海道観光商談会の開催について</li> <li>・新生成田市場に関するセミナー</li> <li>・規制緩和を活用した事業アイデアの募集 【千葉県からのお知らせ】</li> </ul>	令和3年11月2日
第3号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道観光商談会の開催</li> <li>・首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望</li> <li>・成田空港活用協議会 地域ミーティングの開催</li> <li>・航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会</li> </ul>	令和3年12月10日
第4号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい千葉と空の商談会2022冬の開催</li> <li>・第2回県内経済活性化ビジネスセミナー（圏央道全線開通による県内経済活性化への期待）の開催</li> <li>・日本遺産等を活用した誘客促進（モニターツアー）の実施</li> </ul>	令和4年3月9日

### 令和3年度総会の開催

令和3年度通常総会が、令和3年5月17日(月)にTKGガーデンシティ千葉において開催されました。総会では、「令和3年度の事業報告・収支決算」及び「令和3年度の事業計画・収支予算」の計4議案が上程され、いずれも承認を多数取り、議案が即時決まりました。

新型コロナウイルス対策が求められる中で開催となりましたが、皆様のご協力によりスムーズ(予定時間内)に終えることができました。役員の皆様をはじめ、御協力いただいた全ての皆様に向けて感謝申し上げます。

さて、幹事会は、新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた事業が中止・縮小されるなど、思うように事業展開できないことも多岐にわたりますが、今年度は、協議会の目標である「成田空港を活用した千葉県経済の活性化」を念頭に、東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の開催状況や現状を踏まえつつ、必要性・合理性の認められる事業について、緊急な取り組みを進めてまいります。

事業の実施にあたりましては、引き続き、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員が主体的に取り組むことができれば、注ぎたいと考えていますので、是非協議会にご活用くださるようお願い申し上げます。



### CHIBAビジョン2020受賞者

前年度のセミナーにおいて、賞品には協賛企業と企業プランニングのシンジ(株)の協賛による「CHIBAビジョン2020」成田空港活用協議会賞の受賞者である、株式会社石の石を賞品に選定いたしました。

成田空港周辺は、サウジアラビアの東内海有数の産地であり、今後、空港周辺地域の立体的な産業振興(特色(魅力)づくりや、食生活改善・観光事業)に対する参加促進による波及効果が期待されます。

しつとりとスライムのようだが、先である「往時」には「往時」など、同社の商品はオンラインストア等でも購入いただけますので、興味のある方は是非一度、ご興味ください。

<https://satsumaima-ishidanou.com/>

成田空港活用協議会 総会：内務  
ニュースレター発行：企画・総務  
TEL：04-30-3-2411  
MAIL: info@int-promo.jp



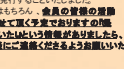
### 航空商談会アフターフォロー

成田空港を拠点とした新しいビジネス(取引)の展開を図るため、令和3年5月18日(火)にホテル日航成田にて「おいしい千葉と空の商談会 2021」と題した商談会を開催したところです。

今回は、成田に隣接する茨城県及び千葉県(商社)の皆さま、サウジアラビアの東内海有数の産地であり、今後、空港周辺地域の立体的な産業振興(特色(魅力)づくりや、食生活改善・観光事業)に対する参加促進による波及効果が期待されます。

しつとりとスライムのようだが、先である「往時」には「往時」など、同社の商品はオンラインストア等でも購入いただけますので、興味のある方は是非一度、ご興味ください。

<https://satsumaima-ishidanou.com/>



## 第1号 (6月発行)

### 北海道観光商談会の開催

北海道から千葉県への「成田空港-LDCを利用した(東)京訪連や旅行振興等を図るとともに、コロナにより冷え込んだ観光業の回復を目指す」、北海道の旅行会社と県内観光事業者等との観光商談会を開催しました。

県内事業者の皆さまには、自社のオリジナルチャイムや地域の魅力をPRするとともに、成田空港-LDCを活用したプラン提案を行っていただきました。また、バイヤーの要望や情報を積極的に収集し、現在、継続してアプローチに取り組んでいただいています。

参加バイヤーからは「千葉の新しい、魅力ある施設(観光施設)など、今後に期待の持てるお言葉をいただきました。

コロナの影響により軒数を減らした中でしたが、LDC各社をはじめ多くの観光事業者のご協力のもと、「オール千葉」としての連携も実現しました。

(1)開催日 2021年11月17日(水)  
(2)会場 ロイトン札幌 3Fロビーホール  
(3)参加者 セミナー千葉県の観光事業者等バイヤー：北海道の旅行会社 14社(23名門)  
(4)内容 ●第1部 北海道の旅行会社と千葉県の観光事業者等との商談  
●第2部 LDC各社によるプレゼンテーション

### 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

成田空港のポテンシャルを最大限発揮させる上で、首都圏からの成田空港へのアクセス強化は重要であり、また、アクセス強化は、首都圏一帯の経済効果をもたらすことが期待されます。

このため、当協議会では2013年度以降、成田空港に通じる首都圏中央連絡自動車道(圏央道)及び北千葉道路の一日も早い開通を推進するため、関係団体への要望活動を実施してきましたが、今年度も関係団体とともに、財務省、国土交通省及び千葉県建設の各関係員と訪れ、水野孝之(さげや)県会議員(建設部)から要望書提出しました。

(1)日時 2021年11月26日(木)  
(2)参加団体 成田空港活用協議会 千葉県議会 首都圏中央連絡自動車道建設推進議員連盟 首都圏中央連絡自動車道建設促進市民会議  
(3)要望先 財務大臣、副大臣、政務官、事務次官、主計局長ほか(総計100名) 国土交通大臣、副大臣、政務官、事務次官、道路局長ほか(総計100名)  
県選出議員



## 第3号 (12月発行)

### [総括]

- ニュースレターに対する反応や問い合わせ等もあったことから、情報発信の観点から一定の効果はあったものと思われる。
- 次年度も引き続き、ニュースレターの発行を継続するとともに、より効果的な情報提供手法についても検討する。
- 今後は、活用協の事業とともに、各会員の取組等も紹介していきたい。

### おいしい千葉と空の商談会 2021 冬の開催について

これまで当協議会では、成田空港を活用した新しいビジネス創出を狙い、県内の企業・商店・生産者(サプライヤー)と空港関連企業(バイヤー)を結び「食品」に関する商談会を開催してきましたが、令和3年度も以下のとおり開催することとなりました。

この商談会は、「目下なかなか出ない空港関連企業との新たな販路を開拓する絶好の機会である」とも、商談に不慣れな事業者にも安心して参加頂けるよう、専門家(中小企業診断士)による実地型サポートを実施します。

事務局としても、より多くの参加を期待し、また、参加者にとって今後につながる貴重な経験となるよう準備を進めてまいります。

(1)開催日 2022年1月18日(火)  
(2)会場 ANAクラウンプラザホテル成田  
(3)開催方法 コロナ対策を踏まえたうえで、対面式での商談及び質疑での相談を実施予定です  
(4)バイヤー 2社程度(航空事業者、ホテル・物販関係者等)  
(5)サプライヤー 60社程度(県内の企業・商店・生産者)



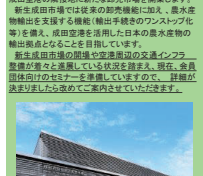
### 北海道観光商談会の開催について

北海道から千葉県への「成田空港-LDCを利用した(東)京訪連や旅行振興等を図るとともに、コロナにより冷え込んだ観光業の回復を目指す」、北海道の旅行会社(バイヤー)と県内観光事業者等(セラー)との商談会を開催しました。

この商談会では、参加者間の連携強化を図るため、LDC各社にも御力を添えて頂き、アフターフォローに向けた情報提供、商品開発にご活用いただける絶好の場となります。

県内観光の魅力を伝えられるよう事務局もしっかりとサポートいたします。

(1)開催日 2021年11月17日(水)  
(2)会場 ロイトン札幌 3Fロビーホール  
(3)参加者 セミナー千葉県の観光事業者等バイヤー：北海道の旅行会社 14社(23名門)  
(4)内容 ●第1部 北海道の旅行会社と千葉県の観光事業者等との商談  
●第2部 成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課)によるプレゼンテーション  
●第3部 成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課)によるプレゼンテーション  
●第4部 成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課)によるプレゼンテーション



### 新生成田市場に関するセミナー

成田市では、平成11年に、開業から47年経過し老朽化が進む成田市公設地方卸売市場を移転し、成田空港の隣接地に新たな卸売市場を開業しました。

新生成田市場では従来の売場に加え、農水産物輸出を支援する機能(輸出手続きのワンストップ化)を導入し、成田空港を活用した日本の農水産物の輸出拠点となることを目指しています。

新生成田市場の機能や売場の交通・インフラ整備が徐々に進展している状況を含め、現在、会員団体向けのセミナーを準備していますので、詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきます。

(1)開催日 2021年11月17日(水)  
(2)開催場所 ロイトン札幌 3Fロビーホール  
(3)参加者 セミナー千葉県の観光事業者等バイヤー：北海道の旅行会社 14社(23名門)  
(4)内容 ●第1部 北海道の旅行会社と千葉県の観光事業者等との商談  
●第2部 成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課)によるプレゼンテーション  
●第3部 成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課)によるプレゼンテーション  
●第4部 成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課)によるプレゼンテーション



## 第2号 (11月発行)

### 第2回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催

例年、当協議会では、「空港周辺・観光圏等への産業集積」をテーマとしたセミナー等を実施していますが、今年度は、日本型の農水産物のワンストップ輸出機能を持つ新生成田市場が成田空港に近接してオープンし、農水産物への経済活性化がますます期待されていることから、2月18日(火)に、新型コロナウイルス対策により、オンラインで開催しました。

(1)日時 令和4年2月18日(火)13時30分～16時20分  
(2)実施内容 ●セミナー  
①観光産業集積による県内経済活性化への期待  
(成田空港活用協議会事務局(成田空港利用促進課) 水野 孝之 氏)  
②新生成田市場の機能による輸出促進の期待(成田空港利用促進課 水野 孝之 氏)  
③新生成田市場へのアクセス向上について(ANA JAL提携航空旅行会社 佐藤 隆之 氏)  
●成田市卸売市場職員による市場内を見学

### 日本遺産等を活用した誘客促進(モニターツアー)の実施

本事業は、日本遺産に指定された地域の魅力を活用し、千葉県内の交流人口拡大と訪日外国人増加に向けたツアー推進を目的としており、今年度は「鎌倉市」を舞台に、2月14日(月)・15日(火)にモニターツアーを実施しました。

利根川の水を利用し、鎌倉各江戸に「人」を運ぶ船として発展し、江戸の食文化を支えた「港町」を、「ナビゲーター」のガイドのもと、歴史的景観を学びながら観光しました。

(1)日程 令和4年2月14日(月)・15日(火) (両日とも同様の内容)  
(2)行程 東京都内→川崎駅→横浜中野区→鎌倉駅→鎌倉市街(石上遺跡・観音崎)→石上遺跡→鎌倉市街内大仏堂(鎌倉大仏)→大仏堂→大仏堂の見える丘(鎌倉市街)→鎌倉市街→鎌倉市街



## 第4号 (3月発行)



## 会員提案の募集・具体化

協議会として、期間延長後の初年度となる平成30年度からは、より一層のプラットフォーム機能を発揮し、事務局・会員間の連携の強化、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員自身が主体となる事業の創出・自走化を促進するという事業展開方針を掲げている。

こうした事業展開方針から、協議会としての事業は原則、各会員からの提案に基づき実施するという枠組みのもと、以下のとおり、会員自身が主体となり協議会を通じて取り組みたい事業、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業及びセミナー等について、各会員から提案や要望を募集し、事業化を検討・実施した。(なお、会員からの事業提案は随時募集している。)

### [展 開]

- ・ 募集期間：令和3年11月22日（月）～令和3年12月17日（金）まで
- ・ 募集内容：令和3年度の実施事業及びセミナー
- ・ 提案状況：会員からの事業提案（8件）

### 《会員提案の検討・具体化》

令和3年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・ アクティビティ（体験型）商品開発
- ・ 航空／空港関連企業との商談会
- ・ 千葉県観光商談会（北海道）
- ・ 日本遺産等を活用した誘客促進
- ・ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ・ 競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進
- ・ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ・ 県内高校生を対象とした体験型航空教室
- ・ 空港利用回復事業

### [総 括]

- 事務局による検討を行い、事業展開方針に合致する提案を協議会事業として位置づけ実施した。

## (4) その他

### プレスリリース

協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースなどにより、メディアへの掲載を図った。

#### 《プレスリリース実績》 5件

- ①令和3年5月12日  
「令和3年度成田空港活用協議会総会及び第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催について」
- ②令和3年11月10日  
「北海道観光商談会を11月17日ロイトン札幌にて開催します」
- ③令和4年1月12日  
「おいしい千葉と空の商談会 2022 冬の開催について」
- ④令和4年1月19日  
「『県内高校生を対象とした体験型航空教室』の募集開始(1/11～)について」
- ⑤令和4年3月24日  
「千葉県立松尾高等学校において『航空・空港関連業種についての出張授業』を開催しました」

#### 《メディア等掲載実績》 6件

- ①令和3年11月10日 時事通信社 千葉県観光商談会（北海道）に係る記事
- ②令和3年11月11日 航空新聞社 千葉県観光商談会（北海道）に係る記事
- ③令和3年11月11日 旬刊旅行新聞 千葉県観光商談会（北海道）に係る記事
- ④令和4年3月 9日 毎日新聞 体験型航空教室の実施に係る記事
- ⑤令和4年3月31日 千葉日報 体験型航空教室の実施に係る記事
- ⑥令和4年4月12日 毎日新聞 体験型航空教室の実施に係る記事